はぐくむ つながる よりそう すまい ~下川町環境共生型モデル住宅美桑の取り組み~

櫻井 百子 (アトリエ momo)



■森のまち「しもかわ」

北海道の北部に位置する下川町は、人口3700人ほどの緑 豊かなまちです。夏は30度を越え、冬は-30度を下回り年間 の気温差が60度以上にもなる「寒暖の差」が激しい地域です。 町の総面積の約90%が森林であることから、基幹産業として 発展してきた森林・林業では、循環型森林経営の確立を目指 して、北海道で第一号の FSC 森林認証の取得、森林バイオマ スの総合的な利活用などに取り組んで、2008年には国の「環 境モデル都市」、2012年には「環境未来都市」の認定を受け ました。これまでの取り組みを持続・発展させて、地域の活 性化に結びつけた取り組みと低炭素社会の構築を積極的に推 進しています。

■「しもかわ」らしい 環境共生型住宅をめざして

2009年5月、下川町は、環境省が公募した「21世紀環境 共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の対象自治体 として全国20箇所のうちの1ヶ所ととして選定され、これま で進めてきた循環型森林経営の一端を担う環境共生型のモデ ルハウス建設を行うこととなりました。*1

モデルハウス建設にあたり、設計者選定の公募型プロポー ザルが行われました。応募にあたり参加した、下川町での勉 強会はとても感動的なもので、「伐採した樹木を大切に利用し 尽くす。」そんな循環型森林経営の姿勢が熱く伝わってくるも のでした。 はぐくむ つながる よりそう すまいと題した提案 では高性能な建築を目指すのはもちろんのこと、その姿勢を 受け継いで、すばらしい下川町の素材をまるごと活かしたい! という想いが伝わり、モデルハウス建設に携わらさせて頂くくわりと呼ばれていた経緯から、素敵な名前を頂き、町の方々

ことにつながりました。また、素晴らしいロケーションのな かに自然となじみ、下川町の方々に愛着を持って末長く利用 していただくことが更なる環境貢献につながるのでは。とい う想いで設計を進めました。

■「しもかわ」だからこそできることを

大きく張り出した庇とともに、北海道らしいシンプルでカ 強い直方体のボリュームで構成した建物のデザインはもちろ んのこと、周辺環境から逸脱せず、奥ゆかしくたたずむよう な配置計画、環境の厳しさに対応できる徹底的な断熱気密と どこまで開放的にできるかの挑戦。建物で使用する木材のほ ぼすべてを下川の森林から伐採された FSC 認証カラマツ材を 使用することで、ウッドマイレージを劇的に減少させること。 それを通じて CO2 削減と林業の振興に貢献することや、バイ オマスを積極的に利用することによって CO2 の排出も最小限 にし、トータルでゼロカーボンを目指すこと。などが、設計 を進めるにあたって大変大事なポイントとなりました。

■ 美桑という素敵な名前をいただいて

補助金などの事情で、約1ヶ月あまりのタイトな設計期間 をへて、冬期間の工事が始まりました。工期が短い中、FSC 森林認証の取得の為の材料や書類の監理、できるだけ敷地の 樹木を伐採せずに施工することで、重機の配置や資材の搬入 などで工事された方々は苦労した点も多かったことと思いま す。こうして地元の工務店の高い技術力と細やかな配慮で、 2010年3月に予定通り無事竣工することができました。

また、昔、桑がたくさん自生していたこの地域が美桑(み



01 建物正面: 林の奥にひっそりと奥ゆかしくたたずむ

02 冬の夕景: 夕闇の中で行灯のように雪を照らす

03 建物内観:地域材をふんだんに使った内部空間 ※ 01 ~ 03 の写真は KEN 五島撮影 04くらしの楽しみ発見塾:地域の方を先生にしてみんなでわきあいあいとしもかわの魅力に

05 発見塾つうしん:終了後発行されるつうしんは、参加者さんの楽しみでもあり、新しい参 加者を増やすツールでもある。地元の魅力発信のきっかけに。



に愛着を持って頂けるよう、また、町外の方々にもエコハウ スを通して町の取り組みを知って頂くきっかけとして積極的 な普及活動が始まりました。

■エコハウス普及活動と性能検証

2010年4月のオープン以降、視察・宿泊体験*2等で全国 から約3000名もの方々に来訪いただきました。(2012年3月

また、下川町が設置するエコハウス推進地域協議会には、 地方公共団体をはじめ、各地域におけるエコハウス建築の推 進に関わる様々な人が加わり、エコハウスの普及に向けて連 携して取り組んでおり、パンフレット、DVD,展示パネルの作



成や各種勉強会、セミ ナーの企画運営、視察 者の受け入れなどを積 極的に行っています。

昨年度からは、建 物だけの環境配慮だけ でなく、「使う人の意 識がとても大事。地域 の方々のエコハウス利

用のきっかけにも。」という想いから、下川町やその周辺の一 般の方々を対象に、「くらしの楽しみ発見塾」と題して、定期 的にワークショップを開催しています。地域の方々を講師と してお招きし、エコハウスで地元食材にふれたり、地元のよ さを再発見する体験を通じて環境配慮に対する意識向上をは かっています。

今年度はエコハウス周辺整備にも力を入れ、地域に自生す

る植物のモデルガーデンや、宿泊 体験者にも利用して頂けるキッチ ンハーブガーデンなどを整備する ことで、ますます地域の方々、利 用者さんたちに愛着を持って頂け たら幸いと感じています。

また、建設時より、東海大学旭 川校舎大学院や、北方建築総合研 究所の協力を得て、その後東京大 学前研究室にもご協力頂き、通年 にわたり環境測定による性能検証 も行っており、エコハウスの性能



を目に見える形で発信して行けるよう努力をしています。

完成が終わりではなく、始まりのきっかけであると肝に銘 じて、今後もこのような取り組みに設計者として、「しもかわ」 の応援団として関わって行きたいと願いつつ、またエコハウ スをきっかけに様々な形で心や環境に負担をかけない暮らし の在り方を学び、考え、設計を通じて伝えて行きたいと考え

※ 1:詳しくは環境省 HP<http://www.env.go.jp/policy/ecohouse/index.html> ※ 2: お問い合せは五味温泉 (電話 01655-4-3311) まで



櫻井 百子 (さくらい ももこ)

1973 年北海道旭川市生まれ。北海道東海大学芸術工学部 卒業後、都市計画事務所、アトリエ設計事務所を経て2008 年アトリエ momo 設立。子育てしながら、こころや環境にでき るだけ負荷の少ない設計を心がけている。 平成 22 年度 北海 道赤レンガ建築奨励賞、2011 年度 JIA 環境建築賞 優秀賞